

関根委員からのデータ提供に関する新規の要望について

統合比率推計に関連するデータ提供について、関根委員より、今回、新規の要望があったところ、下記3点について対応を整理した。

(四半期データの提供)

- 統合比率の推計は暦年値で行っており、四半期値は直接用いているものではないが、今般新たな要望があったことを受け、年内の公表を前向きに検討。

(リアルタイムデータの提供)

- 8月1日に公表した需要側推計値及び供給側推計値（現行統合比率の推計に用いたバックデータ）を2015年以降に延伸したデータについて要望があったが、当該データはそもそもQEの推計過程において作成・使用されていない。
- なお、上記データを作成することは、各年につき4四半期分のQEを再現することと同等であり、他の推計・検討業務の遂行に支障が出るほどの追加作業が発生する。

(公表前のデータ提供)

- 統合比率は本年12月に向け再推計を実施する。そのバックデータについて、再推計後の統合比率を用いて計算・公表するQE及び年次推計の公表よりも前（10月ないしは11月）に、提供してもらいたいとの要望があったが、統計公表前のデータ提供は行っていない。なお、本データについては、前回の本タスクフォース会合で要望があったことを踏まえ、2018年7-9月期2次QE及び年次推計の公表後の速やかな（年内）公表を前向きに検討。